



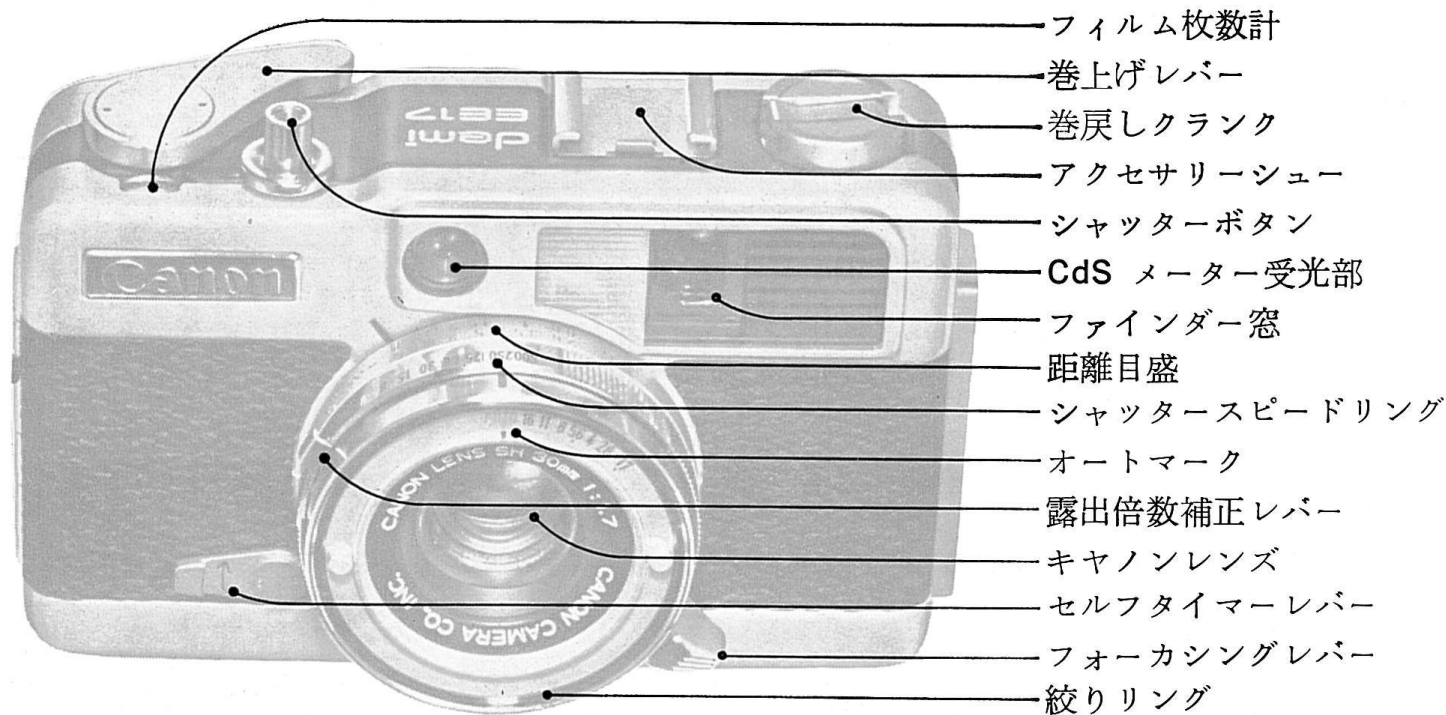
Canon

天三
EE17

使用說明書

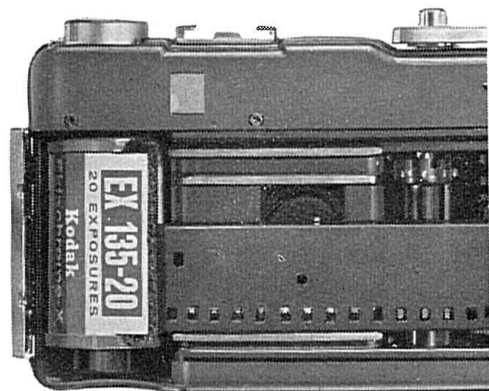


- 型式** 35 mm フィルム使用の 24×18 mm 判
ハーフサイズ EE カメラ
- レンズ** キヤノンレンズ SH 30mm F 1.7 ガウ
スタイプ 4 群 6 枚構成 アンバーのスペク
トラコーティング 画角 53°
- EE 機構** 露出計 シャッター 絞りの完全連動
シャッター優先式 手動絞り可能
- 露出計** 超高感度 CdS 露出計 電源に水銀電池使
用 手動絞りのときも露出計単独使用可能
- EE 連動範囲**
ASA 400 F1.7 1/8 秒～ASA 25 F16 1/500
秒 ASA 100 に対して EV 4.5～17
- フィルム感度目盛** ASA 25～400 DIN 15～27
- シャッター** 1/8～1/500 秒倍数系列および B
- セルフタイマー** 内蔵式 シャッターボタンによ
り始動
- ファインダー** 逆ガリレオ式マークファインダー
倍率 0.45× 視野内に絞り数値 不適正露
出警告マーク ゾーンフォーカスマーク表
示 パララックス補正マークつき
- シンクロ接点** JIS B 型ソケット X 接点
- 焦点調節** ヘリコイドによるゾーンフォーカス式
- 巻上げレバー** 1 作動 145° 小刻み巻上げ可能
- フィルム枚数計** 順算自動復帰式
- 大きさ・重量** 117×71×48mm/445g
- アクセサリ** 34 mm フィルター各種 フラッ
シュユニット J-3 スピードライト 102
ケーブルリリースなど



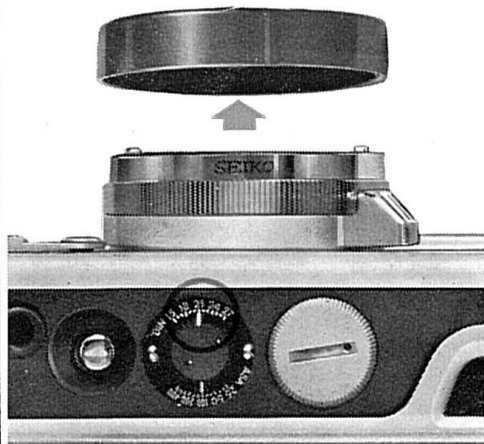
1

フィルムをつめる
(9ページ)



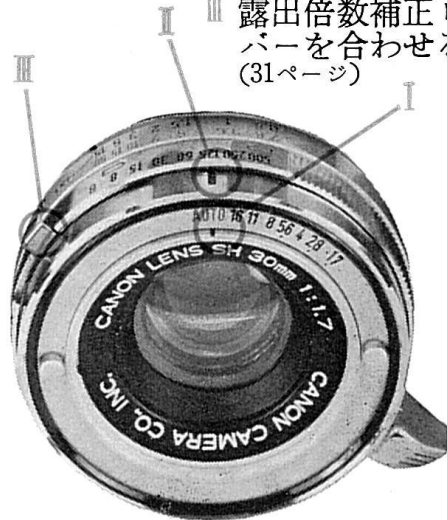
2

フィルム感度を
合わせる
レンズキャップ
をはずす
(13ページ)



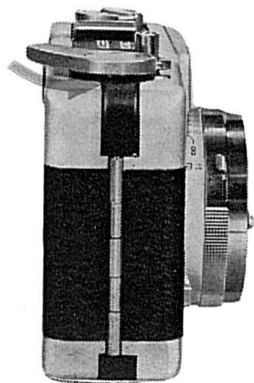
3

- I AUTO マークを
合わせる
(14ページ)
- II シャッタースピ
ードをきめる
(15ページ)
- III 露出倍数補正レ
バーを合わせる
(31ページ)



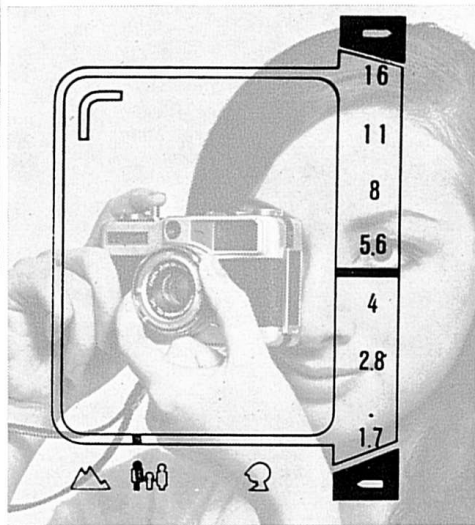
4

レバーを巻上げる
(12ページ)



5

ファインダーをのぞく(16ページ)
I ピントを合わせて
II 構図をきめ
III 不適正露出の場合は調整する



6

シャッターボタンを押す
(22ページ)



ハーフサイズ最高級のカメラ・キヤノンデミ EE 17 をお選びくださいます。デミ EE 17 はキヤノンのポケット版・デミを出発点にハーフサイズの可能性を追求しつづけたキヤノンの技術が ついに極めた完成型です。35 ミリ判にひけをとらぬ性能と 携帯に便利なコンパクトなボディ
ご旅行に 出張に 高性能のメモとして十二分にご活用ください。

● 明るいレンズ

4 群 6 枚のガウスタイプ 30mm F1.7 の明るくシャープなレンズです。35mm判と同質の引伸し写真ができるよう とくに厳しい収差補正が要求されました。新種ガラスを 4 枚も用いた豪華な設計です。

● 正確な EE 機構

露出計 シャッター 絞りの三つが完全に連動する EE 機構。シャッターボタンを押すだけで適正露出が得られます。露出計は CdS を用いた高性能型 シャッターは $\frac{1}{600}$ ～ $\frac{1}{8}$ 秒、B の広範囲にわたっています。

● 機能が集的された情報ファインダー

明るいファインダー視野内にあるマークにしたがって 撮影の三要素〈露出 ピント 構図〉がす早くきめられます。

●ヘリコイドフォーカス

前玉回転式と異なりレンズ系全体が繰出されるヘリコイドフォーカスタイプですから レンズの最良の性能がつねに発揮されます。

●高級感あふれるデザイン

だれの手にも合う丸味をもったキヤノン独特のデザインです。使いやすく 持ち運び 出し入れに非常に便利です。

●手動絞りもできる

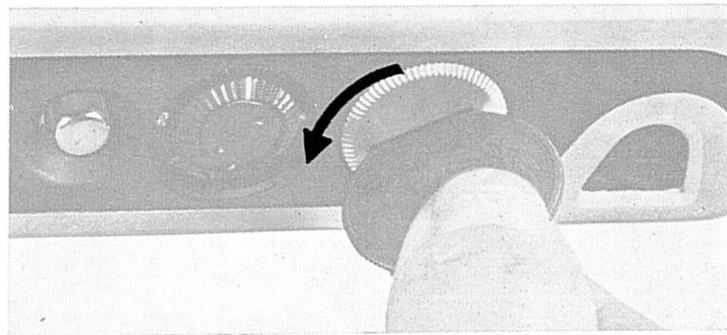
AUTOをはずせば手動絞りで撮影できます。被写体の条件に応じて好みのシャッタースピードと絞りの組み合わせが選べ フラッシュ撮影にも便利です。手動絞りのときも露出計は正しく作動し ファインダー視野内で確かめることができます。

●その他の高性能

セルフタイマーの内蔵 操作性のよい巻上げレバーなど そのほかさまざまな高級機構がコンパクトなボディのなかにいっぱい盛り込まれています。

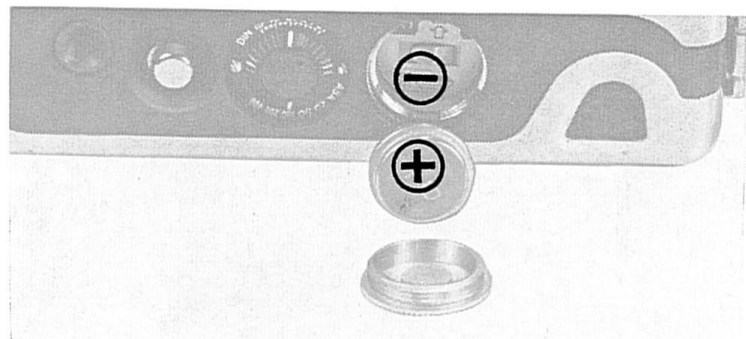
水銀電池をつめてください

最初に別封の水銀電池をカメラの水銀電池室につめてください。これは露出計の電源ですから入れ忘れると露出計がはたらきません。



1

水銀電池室カバーの溝に硬貨をあてがい左回しにしてはずします。



2

水銀電池の中心接点のあるほう(一側)を奥に向けてさし込み カバーをねじ込みます。カバー内部に装填の正しい方向が図示されています。

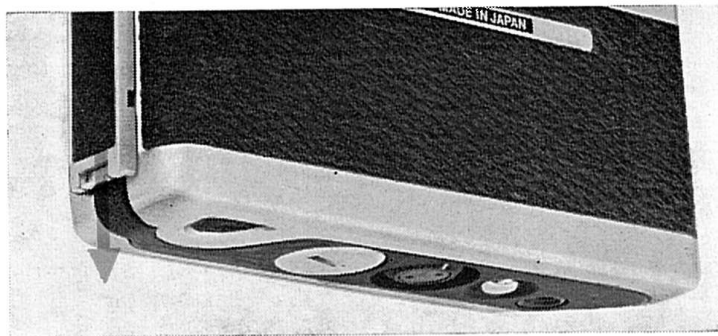


中心接点

- 水銀電池は 1.3V ナショナル H-D またはアメリカの Mallory RM 625R, Eveready E625N, などをご使用ください。
- 水銀電池の寿命が切れると露出計指針がはたらかなくなるのでわかります。そのときは水銀電池をとり換えてください。その際必ず 1.3V のものを使用すること。
- 水銀電池には汗や指紋をつけぬよう 乾いた布でよく拭いてから入れてください。よごれがあると 腐蝕によりカメラの接点をそこなうおそれがあります。
- 長い間カメラを使用しないときは 水銀電池をとり出して乾燥した場所に保管してください。電池の消耗が少なくてすみます。

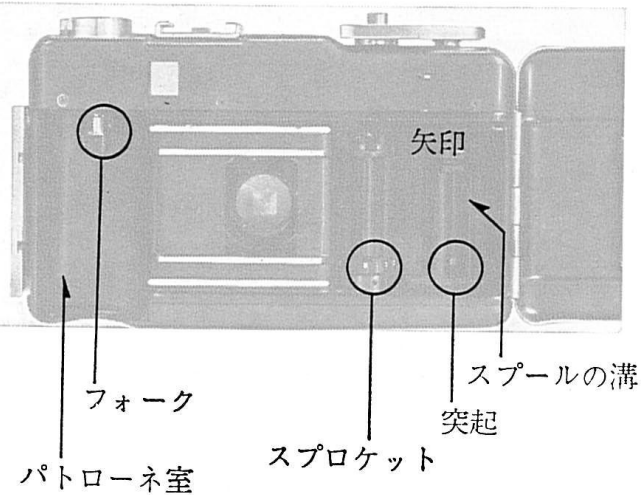
1 フィルムのかめ方

フィルムは市販のパトローネ入り 35 mm フィルムを使用します。ハーフサイズですから 20 枚撮り 36 枚撮りとも それぞれ 2 倍のコマ数が撮影できます。

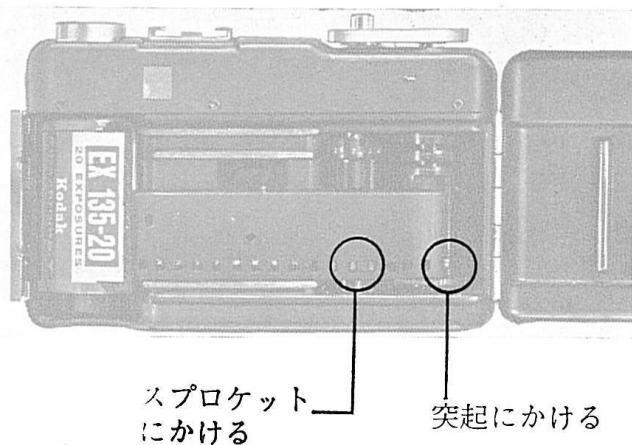


- 1 裏蓋止め金を矢印方向に引くと裏蓋が開きます。
- フィルム枚数計は裏蓋を開くと自動的にスタート位置 (S) に復帰します。

パトローネ室内に フィルムを収めます。ボディ下部の切欠きを利用して 下からパトローネをさし込みフォーク先端に軸を合わせてください。



1. レバーを巻上げるかスプールのつばを矢印方向へ回すかしてスプールの溝を出し そこにフィルムのリーダー部先端を十分にさし込みます。



2. 同時に溝ぎわにある突起にフィルムの孔をかけます。
3. 再びレバーを巻上げるかスプールのつばを回すかしてフィルムをスプール軸に巻きつけ フィルムのたるみをとったのち フィルムの孔がスプロケットに正しくかかっているかどうかをよく確かめます。

2

裏蓋を閉じます。裏蓋は押すだけで完全にロックされます。

フィルム装填の確かめ

レバーを巻上げたとき 巻戻しクランクが同時に回転すれば正常です。その際パトローネ内でフィルムがゆるんでいると巻戻しクランクが回らないことがありますから あらかじめクランクをひき起して時計方向へ2~3回まわしてたるみをとっておくこと。フィルムが正しく装填されていないときはもう一度つめなおしてください。

2

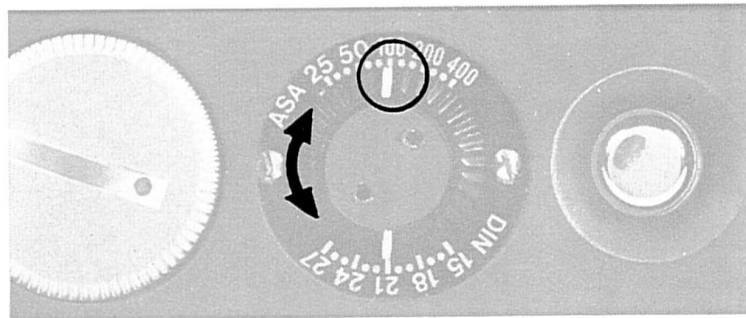
フィルムの巻上げ

巻上げレバーには つぎのようなはたらきがあります。

1. レバーを止まるまで回すとフィルムが1コマ分送られ シャッターがかかり撮影の準備ができます。同時にフィルム枚数計も進みます。
2. シャッターボタンを押すと つぎの巻上げができます。
3. レバーの巻上げは 小刻みに繰返して巻上げることができます。



- 3 レバーを巻上げて シャッターを切る操作を4回行ないます。
5 回目の巻上げで1枚目の撮影準備ができ 枚数計は0をさします。



カメラ底部のフィルム感度セットリングを回して使用フィルム感度の数値を指標に合わせます。
ASA・DIN いずれかの数値を指標に合わせれば他の一方は必ず対応する数値がもう1つの指標にセットされます。

● 感度目盛の中間の点は それぞれつぎの数値をあらわしています。

	(32)	(40)	(64)	(80)	(125)	(160)	(250)	(320)
ASA 25	・	50	・	100	・	200	・	400
DIN 15	・	18	・	21	・	24	・	27
	(16)	(17)	(19)	(20)	(22)	(23)	(25)	(26)

● フィルム感度は フィルムの外箱に示されています。

3

EE 撮影

EE 撮影とは被写体の明るさに応じて、適正露出をカメラが自動的に選ぶ撮影です。EE とは Electric Eye (電気の目)の頭文字をとったものです。



- はじめに
EE 撮影を行なう前に 絞りリングを回して
AUTO マークを指標に合わせます。
AUTO マークに合わせないと EE 機構がはたらき
ません。



1 シャッタースピードをきめます
シャッターリングの上に刻まれた目盛は
 $\frac{1}{500}$ 秒 $\frac{1}{250}$ 秒などという場合の分母を
あらわしています。これによってシャッタースピー
ドの調節が行なわれます。B はバルブ露出で長
時間露出に用います。
被写体の条件に応じてシャッタースピードを選ん
でください。

● シャッタースピードの選び方

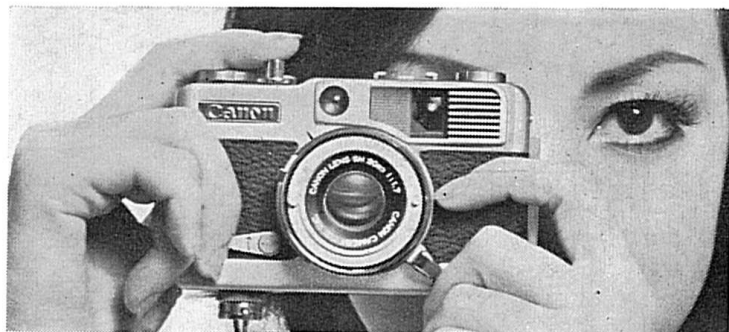
快晴 250 晴 125 曇 60 室内 30
ときめておく便利です。

動きの早い被写体を写すためには早いシャッター
スピードを用います。

● 選んだシャッタースピードで適正露出が得られ
るかどうかは ファインダー視野内の情報で確か
めることができます。(P. 18~19 参照)

5

ファインダーをのぞいて
ください

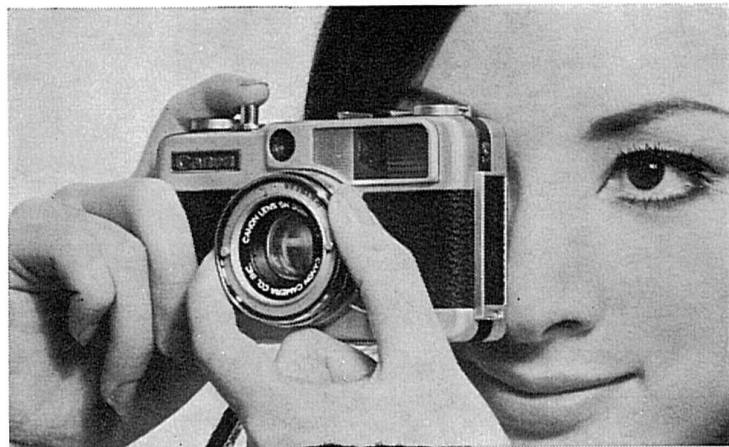
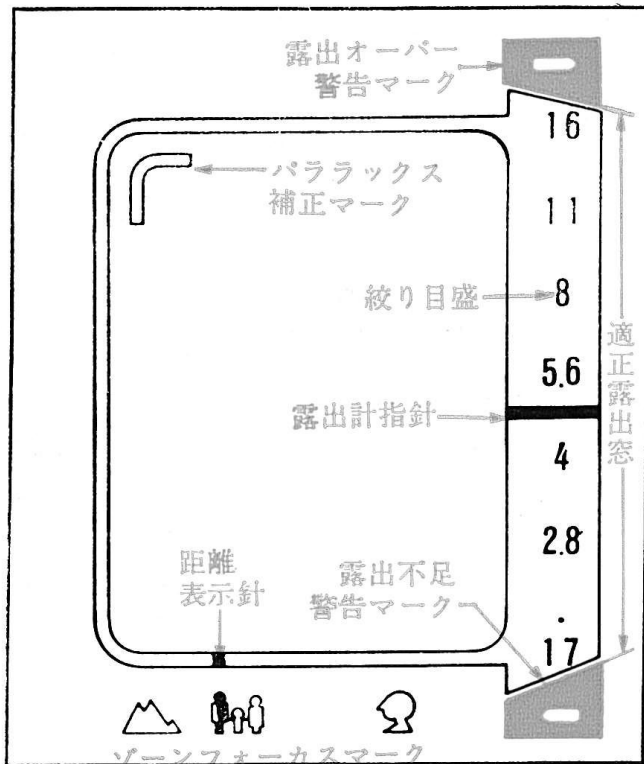


2

ファインダー視野内に見えるマークや指針の指示にしたがって

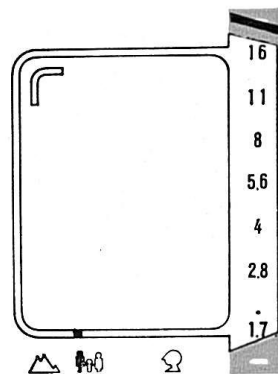
- I 露出の決定
- II ピントの調節
- III 構図の決定

ができます。



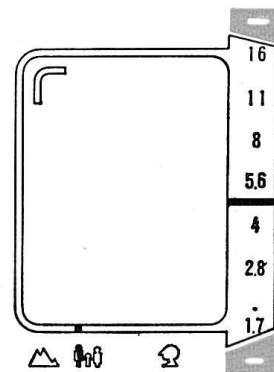
I 露出の決定

カメラを被写体に向けてファインダーをのぞき露出計指針が適正露出窓のなかにあるかどうかを確かめます。



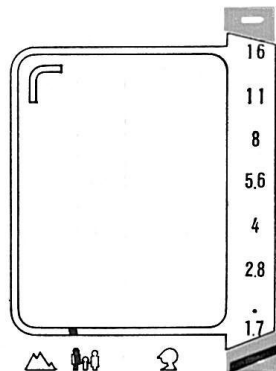
指針が上部矢印内にあるとき

露出オーバーです。ファインダーをのぞきながらシャッターリングを矢印の方向（右）へ指針が適正露出部にくるまで回します。



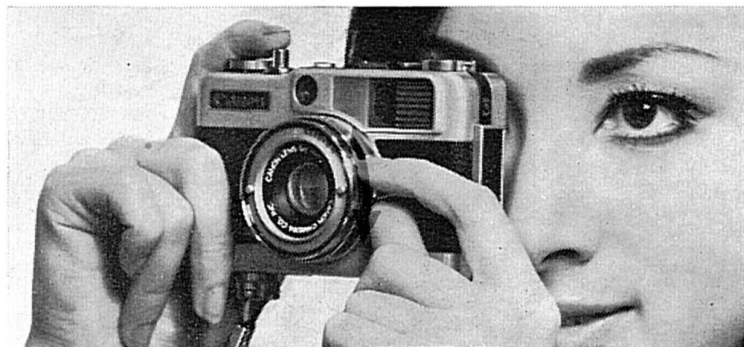
指針が適正露出窓にあるとき

適正露出でシャッターが切れます。ピントを合わせ構図をきめてシャッターボタンを押してください。



指針が下部矢印方向にあるとき
露出不足です。シャッターリングを矢印方向(左)
に 指針が適正露出部にくるまで回してくださ
い。

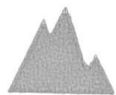
シャッターリングをいっぱい回しても 指針が
適正露出部にこないとき
EE 撮影はできません。



Ⅱ ピントの調節

撮影には被写体までの距離によってレンズを調節
する必要があります。これをピント調節 または
ピント合わせといいます。露出が決まったら ピ
ント合わせをしましょう。

ファインダー下部に ピント合わせに用いるゾー
ンフォーカスマーク 距離指針が見えます。



遠距離マーク (10 m 以上)



中距離マーク (約 3 m)



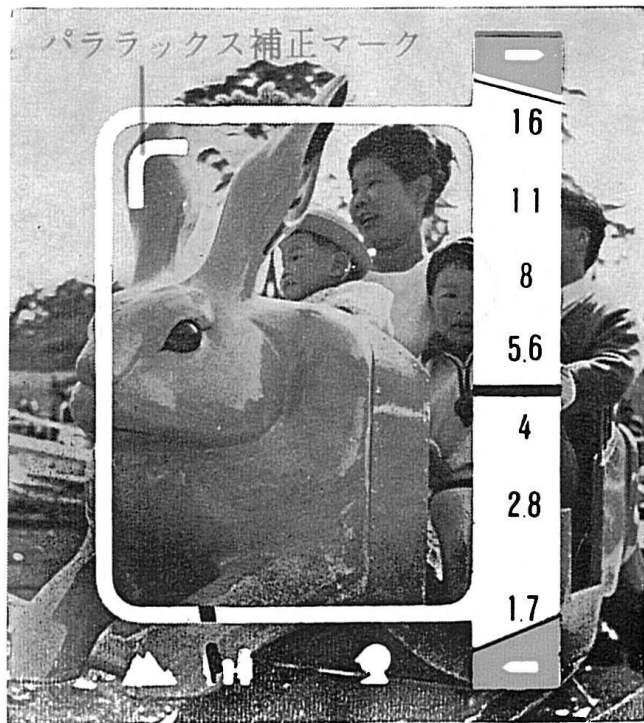
近距離マーク (約 1 m)

ファインダーをのぞきながらフォーカシングレバーを回して 被写体までの距離に相当するマークに針を合わせます。

● デミ EE 17 のレンズの被写界深度は非常に深いので ゾーンフォーカスマークを利用したピント合わせで十分ピントの良い写真が得られます。



● フラッシュ撮影など とくに正確なピント合わせを必要とするときは フォーカシングリングの距離目盛を見ながらレバーを回して指標に合わせます。



Ⅲ 構図の決定

ファインダー視野内の白線でかこまれた範囲が写ります。

ただし 近距離撮影（1 m 以内）のときは 多少のパララックス（視差）が出ますから 補正マーク内で構図をきめてください。

シャッターボタンを押す

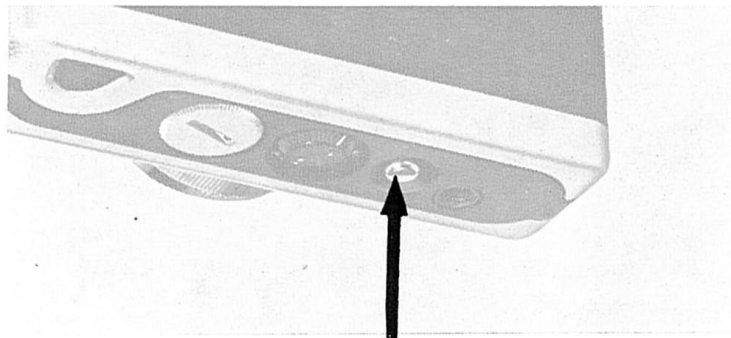
6



- 3** シャッターボタンを押す
露出 ピント 構図が決定されたらシャッターを切ります。
シャッターボタンは手ぶれのない鮮明な写真を撮るため 静かに押します。
撮影が終わると再びレバーの巻上げができ つぎの撮影が準備されます。

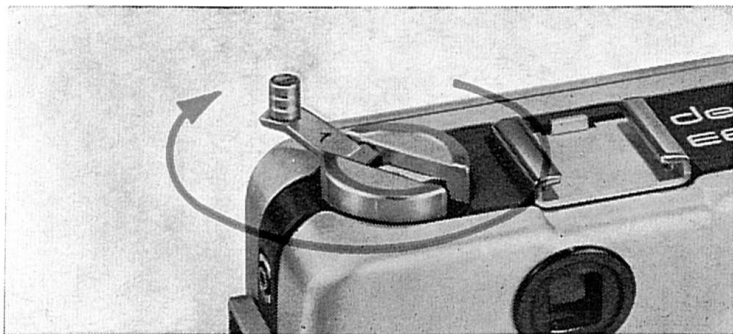
フィルムはパトローネ（容器）から裸のまま巻取られています。したがって撮影後そのまま裏蓋を開いて取り出すことはできません。一旦必ず元のパトローネに巻戻さねばなりません。

● フィルムが終わりになるとレバーがきつくなり巻上げができなくなりますから フィルムを巻戻

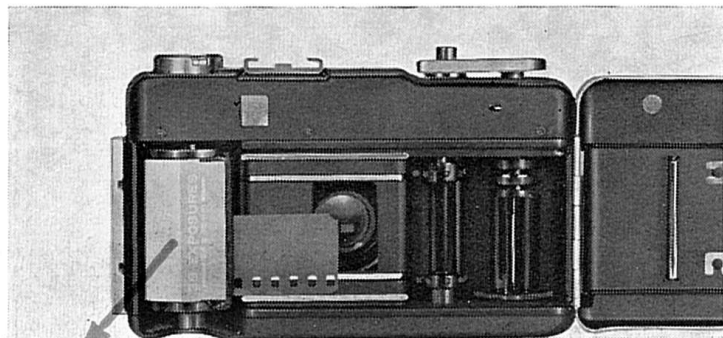


します。 巻戻しボタンを押す

● 無理に巻上げるとフィルムが切れて元のパトローネに戻せなくなり 暗室かダークバッグが必要となりますからご注意ください。



1. 巻戻しクランクを引起こす。
2. カメラ底部の巻戻しボタンを押込んだまま巻戻しクランクを矢印方向に回します。抵抗が軽くなったら巻戻し操作を止めます。



3. クランクを折りたたみます。
4. 裏蓋を開きます。
5. 巻戻された撮影済みフィルムを取出します。



セルフタイマーを使用するとシャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターが作動します。

1. セルフタイマーレバーを矢印方向に回してセットします。巻上げレバーの巻上げはこの前でも後でも結構です。

2. シャッターボタンを十分に押し下げます。

- セルフタイマーレバーは $\frac{1}{2}$ 以上巻上げれば有効に作動しますから 遅延時間の調節ができます。

- シャッターボタンはカメラのうしろから押しましよう。カメラの前に立つと その蔭の明るさに対する適正露出が与えられるため 主被写体に正しい露出が与えられなくなります。ご注意ください。

- セルフタイマーは手動絞り撮影でも利用できません。

キャノンデミ EE 17

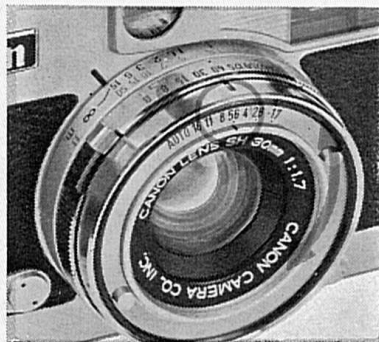
はAUTOマークをはずすとEE機構が解除され絞りとシャッタースピードを自由に組合わせて撮影できます。

フラッシュ撮影 暗い被写体で長時間露出を必要とするとき シャ

ッターによる効果や絞り効果を使いたい時にご利用ください。絞りは光の量の調節をするもので数値が大きくなるにしたがって暗くなり 目盛の一段ごとに明るさが半分になります。絞り目盛と露出量の比率はF2を基準としてつぎの通りです。

絞り値 1.7 2 2.8 4 5.6 8 11 16

露出比率 1/1.4 1 2 4 8 16 32 64



露出計の単独使用

ファインダー内の露出計指針は手動絞りのときも正しく作動しています。

絞り効果のまとめ

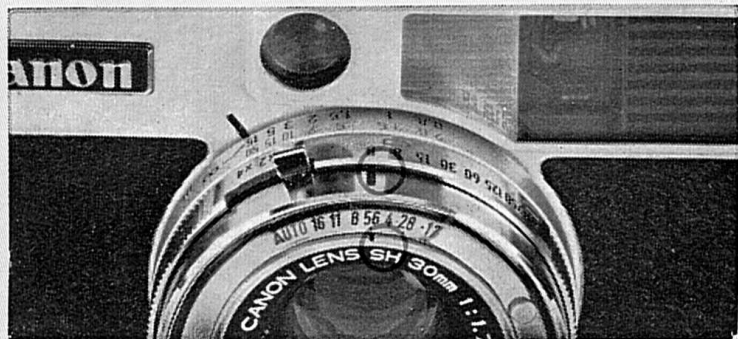
- 数値が大きいほど光量が少なくなり 目盛 1 段ごとに 1/2 の明るさになる。
- 数値が大きいほどピントの合う範囲が深い。
- 撮影距離が遠いほどピントが合う範囲が深い。
- 絞りが開放になるほどピントが残る。

シャッタースピードは露出時間の調節をするもので 絞り系列と同様 各目盛間は2倍に変る倍数系列になっています。したがって1目盛速いシャッターを選んだときは絞りを1目盛開いてやることとなります。

シャッターの効果

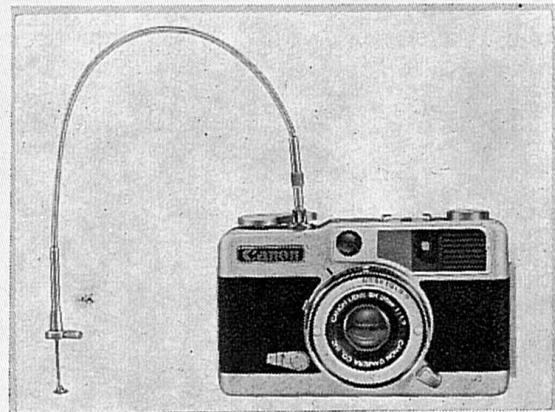
高速：ブレ防止 速い被写体撮影用 浅い絞りを生かす撮影。

低速：暗い被写体の撮影 ブレの効果 深い絞り効果を生かす撮影。



B (バルブ) 露出はシャッターボタンを押している間中、シャッターが開いていますから長時間露出に用います。

1. 絞りリングを AUTO からはずし手動絞りに合わせる。



2. シャッターリングを回して B を指標に合わせる。
3. 巻上げレバーを巻上げてシャッターボタンを押すと、押している間ずっとシャッターが開き、はなすと閉じて B 露出が行なわれます。

極長時間露出を行なうときは 前記B露出にセットし ロック付レリーズによってシャッターを開き レリーズを押したまま固定しておきます。

● B露出・T露出は長時間露出ですから必ず三脚とケーブルレリーズをご使用ください。



フラッシュ撮影は暗い被写体でEE撮影ができないときに利用します。したがって絞りは**AUTO**をはずし 手動絞りで撮影します。

フラッシュ撮影の準備

フラッシュユニットをカメラのアクセサリシューに取り付け コードをカメラのフラッシュソケットにさし込みます。フラッシュソケット **J-3** かフラッシュクイントをおすすめします。

スピードライトにはアクセサリシュー取り付け式とブラケットを介して三脚穴に取付けるものがあります。

フラッシュと同調範囲

フラッシュバルブ	同 調 範 囲
M 級	1/30秒以下の低速
F 級	
スピードライト	全シャッタースピード

フラッシュ撮影の絞りのきめ方

絞り値は使用するフラッシュバルブのガイドナンバーを距離で割って求めます。

$$\text{絞り値} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影距離}}$$

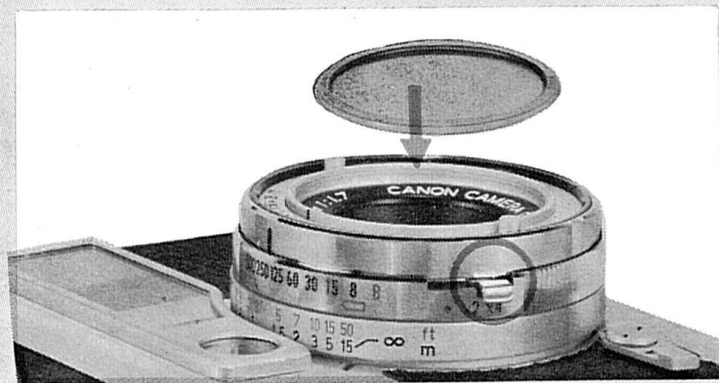
まず撮影距離を求めてピント合わせをします。
フラッシュ撮影の場合は 正確を期するためゾー

ンフォーカスマークを用いずに 距離目盛で合わせたほうが安全です。

その上で前記の計算によって算出された絞り値を絞りリングにセットします。

● この場合フラッシュユニット J-3 を使用すれば計算盤がついているので わずらわしい計算をしないですみます。

● スピードライトの閃光時間は シャッタースピードに関係なく ごく短い同一の露出が与えられます。したがってシャッタースピードにより絞りを変更することがありません。



フィルターはレンズ前枠にねじ込んで使います。フィルターは黒白フィルム カラーフィルムに対してそれぞれ特有の効果をあらわします。また露出過度の場合はNDフィルターなどで調整することもできます。フィルターは濃度や種類によって露出倍数があります。フィルターをかけた場合はその分だけ露出の調整をしなければなりません。

● 露出調整のしかた

その1 〈露出補正レバーを用いる方法〉

露出倍数補正レバーを使用フィルターの倍数にセットします。レバーは押しながらかけてください。

その後はふつうにEE撮影ができます。手動絞り撮影の場合も露出倍数補正レバーをセットしておけばファインダー内の絞り数値を読み取ってそのままセットし 適正露出が得られます。この調整をしないと正確な露出が得られません。
 ・目盛は・(1倍) 2倍 4倍の3点です。

その2 〈フィルム感度を変える方法〉

使用しているフィルム感度をフィルター倍数で割り その数値をフィルター使用時の感度としてフィルム感度セットダイヤルを合わせ直します。たとえばフィルムがASA 100でフィルター倍数が2倍のとき $100 \div 2 = 50$
 同様に3倍のときに $100 \div 3 = 33$
 したがって それぞれ50および32(近似値)にセットし直せばよいことになります。

●黒白フィルム用 各450円

- Y1 (1.5倍) } 海辺や山で、人物の肌が黒くなるのを防いだり、青空から白雲を浮き立たせた
 Y3 (2倍) } りします。
 O1 (3倍) 人物の肌が自然に美しくうつります。
 R1 (6倍) 赤色のものが白くうつり、視覚と変わった効果を示します。
 G1 (3倍) 緑色を効果的に表現します。

●黒白・カラー用共通 各500円

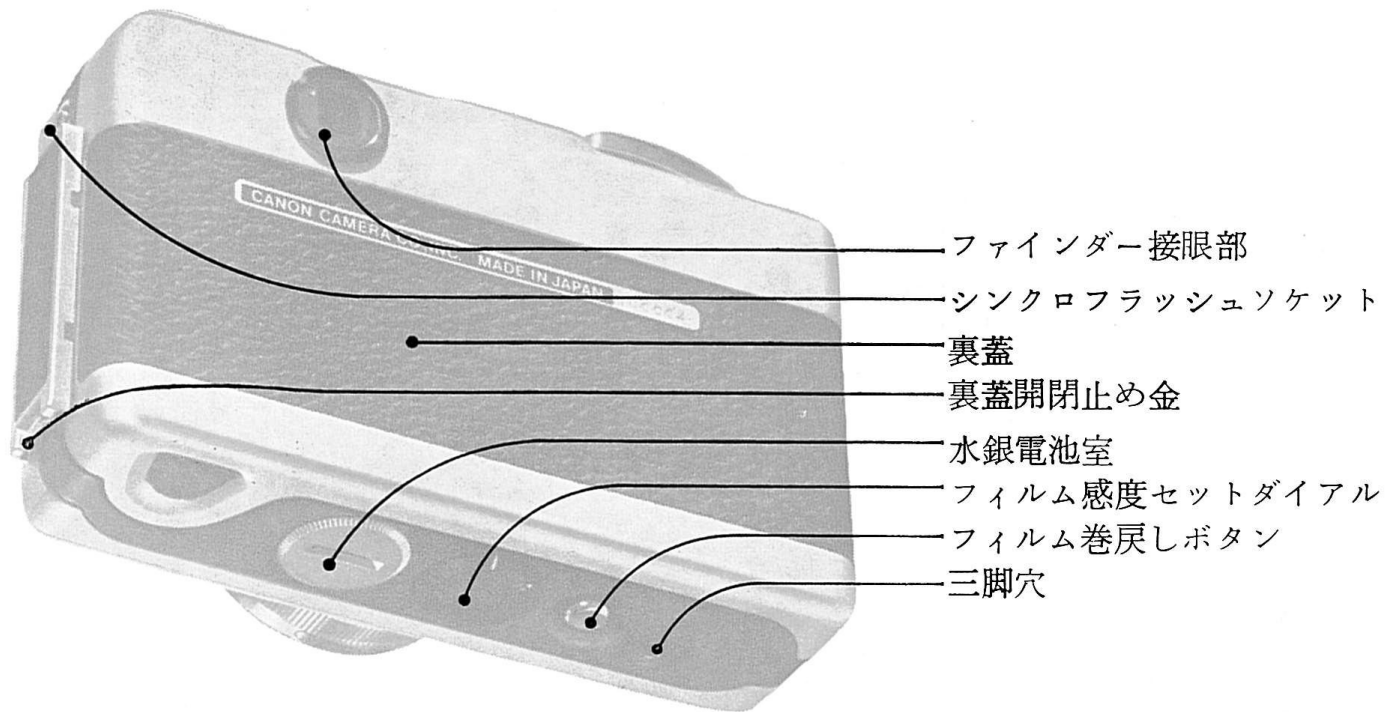
- UV (1倍) レンズ保護と写真の冴えを助ける常用フィルター。
 ND4 (4倍) } ND4は1/4に、DN8は1/8に光量を減じます。露出オーバーのとき、利用す
 ND8 (8倍) } ると便利です。

●カラーフィルム用 各500円

カラーコンバージョン (CC) フィルター A,B

- CCA4 (1.5倍) 曇天用
 CCA8 (2倍) ユニバーサルタイプ用
 CCA (12相当) (2倍) タイプA用
 CCB4 (1.5倍) 朝夕用
 CCB8 (2倍) フラッシュ用
 CCB (12相当) (3倍) フラッド用

スカイライト (1倍) カラー用のレンズ保護と写真の冴えを助けます。

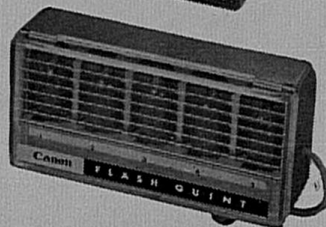


フラッシュユニットJ-3
1,050 円



ベースレスバルブ専用 AG-PH ソケット内蔵
切換え式

フラッシュクイント
2,950 円



5 ヲのフラッシュバルブを連続発光させること
ができる小型発光器 AG タイプ専用

スピードライト102
6,800 円
ケース・コード
600 円



超小型な高性能ストロボ 集光性のよいフ
レネルレンズを使用し、周辺部までムラのない
照明ができる

キヤノンレリーズ28
250 円

キヤノンレリーズ30
550 円



キヤノン株式会社

キヤノンカメラ販売株式会社

東京都中央区銀座5-9-9 〒104 ☎ (03) 572-4251

東京営業所	・(105) 東京都港区芝公園11-6-2	(03) 432-8111
横浜分室	・(231) 横浜市中区弁天通り2-26	(045) 201-2176
銀座サービスステーション	・(104) 東京都中央区銀座5-9-9 (吹原ビル1階)	(03) 572-4251
横浜サービスステーション	・(231) 横浜市中区桜木町1-1 (ゴールデンセンタービル1階)	(045) 201-7348
大阪営業所	・(541) 大阪市東区瓦町5-39 (大阪化繊会館3階)	(06) 202-6761
大阪サービスステーション	・(530) 大阪市北区梅田2 (第一生命ビル2階)	(06) 341-9335
営業所・サービスステーション		
札幌	・(060) 札幌市北三条西4-1 (第一生命ビル4階)	(0122) 23-1313
仙台	・(980) 仙台市一番町3丁目1番1号 (富士ビル8階)	(0222) 22-1571
新潟	・(950) 新潟市東大通1-2-3 (マルタケビル7階)	(0252) 46-0131-3
静岡	・(420) 静岡市鷹匠町2-3-6 (静米会館1階)	(0542) 55-2241
名古屋	・(450) 名古屋市中村区堀内町4-1 (毎日会館2階)	(052) 581-3811
広島	・(730) 広島市幟町14-11	(0822) 21-4615-6
福岡	・(810) 福岡市天神1-11-17 (福岡ビル9階)	(092) 74-8431

